

地方通信



北陸地方

富山縣下小川橋復舊工事の竣工

富山縣下新川郡内下新川部内小川橋（前號口繪參照）改築工事の概要を摘記すれば左の如し。

小川橋復舊工事

路線名 泊舟見線
位置 下新川郡 大家庄村 大家庄 立會 五ヶ庄村ニツ
河川名 小川
橋格 三等橋

橋種 三徑間連續桁橋

上部構造

橋長 一二四・三二米

有效幅員 五・五米

有效面積 六八三・七六平方米

徑間及連數 二〇・六米 六連

主桁 三本通し、桁心々間隔二・〇米

桁高・中央一・二〇米 橋脚上

二・〇〇米 桁幅六〇厘米 床版厚

一五厘米

橋體主要材料 鐵筋量 每平方米に

付 一〇四趾

混凝土量 同 〇・六三立方方米

下部構造

橋脚 重力式コンクリート造二基

（高さ六・七六米 幅六・四米）

橋脚 鐵筋混凝土造五基（頂部幅一・

三〇米 高さ三・〇三八米—三・

二三米）

基礎 鐵筋混凝土橢圓形井筒五

基（内徑二・二米 壁厚四〇厘米

さ七・〇米）

中埋コンクリート一・六—二

取付道路

延長 幅員、勾配 延長二〇七米 有效

幅員五五米 最急勾配五%

路面 砂利道

工事費 六二、七五〇圓（内國費三一、

六四九圓 縣費三一、一〇一圓）

工事着手 昭和十二年八月

同 竣工 同十三年十一月

東海地方

静岡縣下の國道岡崎梁

静岡縣では明十四年度に施行する國縣道及び橋梁の改築は左の通り決つた。

◇橋梁 千歳橋(田方郡韭山、伊豆長岡間) 落合橋(駿東郡小山町) 宇布見橋(濱名郡雄踏町篠原村間)

◇道路 賀茂郡上河津村梨本(八〇米) 田方郡田中村田京(一〇〇米) 田方郡函南村(七五米) 駿東郡長泉村下土狩(九〇米) 庵原郡由比町西倉澤(三〇〇米) 興津町(二〇〇米) 志太郡大合村道悦島(九五米) 小笠郡横須賀町(二三〇米) 周智郡水窪町奥領家(一〇八米) 濱松市北濱小林(一一〇米) 濱松、入出(一〇〇米) 氣賀町(七〇米) 伊東町(三〇〇米) 静岡市手越(四〇〇米) 磐田郡二俣町(六五〇米) 同郡山香村(一、〇三〇米) 賀茂郡南崎村(五六米) 同郡三坂村(一〇〇米) 駿東郡靜浦村(七〇米) 清水市駒越(一三五米) 志太郡藤枝町(四〇〇米) 小笠郡中村(三〇〇米) 磐田郡井通村(二〇〇米)

地方通信

◇待避所設置 賀茂郡上河津村天城山(二八〇米) 静岡市久能地内(八〇米) 磐田郡蒲川町(一七五米)

◇路面舗装 修善寺三島界(五五〇米) 吉原今泉(三〇〇米) 焼津(二五〇米) 藤枝(四〇〇米) 青島(四〇〇米) 島田(四〇〇米) 舞坂(一〇〇〇米)

愛知縣關急驛前の舗道の施設

名古屋市内名鐵局聽舎の南側には七千坪に餘る大草原帯が取殘されてゐたが、鐵道局では廣場活用の見地から既定の通り「關急」假驛から南へ高架の省線に沿うて廣小路通りまで幅員十一メートル、延長三百五十メートルの道路を設けることとなつた、一萬三千五百圓で一月中旬から着工される、陽春四月までには小舗石美しい大道路が完成して「關急」假驛附近に懸案の自動車停車場も設定、名古屋驛前から「關急」へ入る車は一切新道路を太閤橋ガード下の

廣小路通りに出る一方交通體制が實現する譯である。

愛知縣下岡崎市の舗装工事の計畫

岡崎市に於ては岡崎支部裁判所前から龍橋間の舗装計畫を翌十四年度工事とし大樹寺線ならびに中町線工費十三萬八千四百五十八圓のみ施工することにし、本年度中止することになつた矢作橋線ならびに中町線の線續工事を十四年度に行ふ方針に決定した、なほ中町線本年度の工事は籠田町―明代橋線間で民家の立除き、道路幅員の擴張が行はれる、なほ十四年度事業である矢作橋線の工事費は七萬七千三百五圓、中町線は八萬六千百十五圓である。

近畿地方

京都府下道芝隧道の舗装

東舞鶴市の發展に伴ひ新、中舞鶴を連結

する國道は最近とみに交通量を増加しつゝあるにかなり、京都府ではいよゝゝ近く同國道芝トンネル内の舗装に着手することとなつた、同トンネルの舗装完成によつて舞鶴から東舞鶴へ通ずる最短交通路の眞價が發揮されることとなるわけである。

四國地方

徳島縣下災害復舊土木

工事の着手

徳島縣の災害復舊事業費總額六百餘萬圓は舊臘の縣會を通過して目下着々と事業開始の準備を進めてゐるが、一齊工事に着手することとなつたので豫定通り三月末日までには第一回の國庫補助工事四十七萬二圓の災害復舊事業を完成させるべく大した意氣込みを見せてゐる、なほこの災害復舊工事の開始によつて郡部農山村民は相當人夫として勞銀が得られるので舊正月を前に

して潤ふ災害復舊景氣にほくほくものである。

徳島縣下仁宇谷橋竣工

徳島縣下阿南の交通動脈たる縣道鷲敷日和佐線の要衝にあたる那賀郡鷲敷町仁宇の那賀川に架設中の仁宇谷橋はこのほど全部の工事を終り十二月二十二日盛大な竣工式を舉行、竣工した仁宇谷橋は橋の長さ二百十二メートル、幅員五メートルのところは百八十メートル、六メートルのところは三十二メートル徑間二連の曲弦ワイレン式鋼橋として鐵筋コンクリートによつて建造されてゐる、從來同地は交通動脈の要衝にありながら完全なる橋がなく、假橋により交通してゐたが毎年洪水のため十數回は必ず交通社絶の状態におちりこの不便を除くため昭和十一年十一月着工、十二萬一圓の工費と二ヶ年二ヶ月の歳月を要して見事本年十二月全部の竣工を見たわけで、この間數次の洪水に工事を阻まれそのうへ鐵

の統制によつて鋼材の配給も意のごとくならず、關係者の苦心一方ならず漸く今日の結果を招來することとなつた、この工事に使用した職工、人夫、潜水夫の延人員は實に二千八百六十餘名にのぼり材料は鋼材二百九十六トン、コンクリート二千五百五十六立方メートル、セメント一萬六千三百五十八袋に達してゐる、なほ竣工した新橋は高さ十五メートルこの工費一萬餘圓といふすばらしい橋脚と右岸橋臺と山際の取合道路を連絡する曲線桁橋を試みてゐることは全國に例のない様式を誇るもので清流と阿波鮎の名産地である那賀川に近代建築の粹を誇る名所が一つ増えたわけで地方民はよるこびに満ちてゐる。

高知縣土木復舊工事の施行

高知縣に於て三回襲來した暴風雨によつて荒された道路、橋梁、港灣などの土木災害復舊費は實に百十四萬六百一十一圓の多き

に達しこれに對し内務省は最高率の國庫補助八割の九十一萬二千四百八十八圓と決定したが二十一日内務省より本縣に對し明年度の豪雨に備へ最も急を要する事業費十九萬一千圓(國庫補助十五萬三千圓)を明年二月までに支出し應急工事着手を電命して來た、この繰上げ工事は從來の土木災害復舊の新例であり縣土木課でも雨の少い冬季に緊急の事業を完成し春の豪雨に備へんとするもので直に施工方針樹立に従事することとなつた、なほ復舊工事は道路二百八十三ヶ所三十萬五千六百八十二圓、橋梁七十六萬三千二十八圓、河川二百七十個所七十三萬三千八百七十六圓、港灣一千五百九十六圓、町村事業十六個所三萬六千四百二十九圓で其の内道路橋梁の工事個所を示せば左の通り。

道路 馬路、奈半利線、北川、田野線、久木、奈半利線、東川、安藝線、奈半利線、東川、安藝線、奈比賀、安藝線、栃ノ木、安藝線、畑山、安藝線、嵩川、安藝線、

地方通信

東川、和食線、横山、夜須線、東川、和食線、三川、赤岡線、赤岡、高知線、橋川野、野市線、美良布、赤岡線、久禮田、後免線、山田、横山線、大枋、上野尻線、西峯、山田線、奥木頭、大西線、西峯、大枋線、久保、杉線、國道二十三號線、盤越、天坪停車場線、土佐山、高知線、弘瀬、領石線、弘瀬、伊野線、上八川、高知線、本山、伊野線、本川、伊野線、本川、本山線、宇佐、高岡線、浦戸、長濱線、高知、松山線、出來地、西佐川停車場線、越知、宇和島線、本山、越知線、長者、佐川線、長者、池川線、池川、小田線、高知、中村線、須崎、宇和島線、壽原、野村線、東津野、久禮線、大野見、窪川線、窪川、上ノ加江線、窪川、宮内線、横浪、吾桑停車場線、高知、中村線、中村、下田港線、清松、中村線、下加江、足摺崎線、清水、足摺崎線、清松、宿毛線、柏島、宿毛線、下川口、宿毛線、下川口、中村線、下ノ加江、宿毛線、下切

宿毛線、中村、宿毛線、中村、宇和島線、津大、松九線、十川、吉野線、江川崎、窪川線、新田、中村線、打井川、中村線、西上山、中村線
 橋梁 高知、徳島線、田野、奈半利間、並に安田村唐濱、赤岡、高知線、吉川村寺畑橋、同物部川、下ノ橋、越知、宇和島線、大桐村上流谷橋、同磯谷橋、東津野、久禮線、東津野村倉川橋

高知縣下森林道の擴張

吾北產業界に重きをなす神谷村施業土工森林組合の經營にかかる小野中追林道は着工以來八ヶ年の日子と約六萬圓の巨費を投じてこれが竣工を見、無限の林産物の寶庫を拓く産業道路として出現したが、今回又大阪材木界の重鎮川崎合資會社の川崎氏は地方産業の開發は交通機關の完備にありとし數千圓の多額の費用を投じて森林道の擴張改修に盡すこととなつたものである。

高知縣下流矢橋の復舊 工事

高知縣安藝郡安藝川に架する縣道中ノ橋は昭和十年の水害にて流失した、過般來總工費二萬五千圓を以て架橋工事の施行中であつたが此程竣工した鐵筋コンクリート全長百三十八米幅員二・八〇米である。

高知縣の西端片島港の 道路擴張

土佐の西支關幡多郡宿毛町片島港近時片島港の乗降客は異常の増加を來し時によつては一日に自動車の運轉延臺數三千二百臺におよぶ飛躍で之に備へる爲に宿毛全島間三・八キロ幅員四・一八米の道路を幅員五・五〇米に擴張鋪裝することとなつた。

九州地方

福岡縣若松市蘆内トン ネル開通

若松市民等の待望した若戸トンネルも認可済みとなり愈々明春から着工されることに正式決定した譯だ、これでホツと安心したよと善びを一杯に柳川市長は語る。

「大丈夫と思ひながら決裁になる迄はどうかと心配してゐたがこれですつかり安心したよ、この時局に直面しかゝる大工事が認可されたことは縣當局並に地元の熱烈なる要望のたまものであり、且つ西日本の心臓部たる北九州將來の重要性を當局に於て充分認識された結果で感謝の限りだ、同工事は單なる地方的工事ではなく國家的大工事であり、一日も早く完成する様、地元としてはあらゆる援助と熱意を捧ぐべきだ、若松市將來の發展もこれで大鼓判がおされたわけで八萬市民と共にこんな嬉しいことはない。」

臺灣地方

臺中州新八通關ドライ ヴ・ウエイ工事進捗

臺灣臺中州新高郡水裡坑から同郡蕃地和社にいたる延長二十八キロの八通關自動車道路は蕃地開發と新高登山の主要道路として臺中州が昭和十二年度から總工費六十萬圓、三ヶ年繼續事業として計畫し、初年度は豫定通り二十萬圓の豫算で基點たる頂歇から那坑にいたる延長八キロを施工したが、十三年度は七萬圓の州費のみをもつて辛うじて那坑―内茅埔間を開鑿中である、本道路の開鑿により従來頂歇―内茅埔間三時間半を要したものが自動車なら僅々三分で達でえられるのだから新高登山者には非常に便利になるわけだ。